

ソライロノオト
/ LOVE LOVE LOVE
VICL-63343 SPEEDSTAR RECORDS 1800円

「自分たちにとっても大事な曲」(寺井)という一曲目「夕焼けルーシー」の疾走感に耳を奪われ、続く「マッシュ」のサビにある「おやすみ」という歌詞に、思いを奪われる。「最近『おやすみ』って言ってないなって。ありふれた言葉なんですけど、優しい感じもするし」とはこの曲の作詞にも携わった澤本。どの曲も聴くほどに良さが増すのだ。



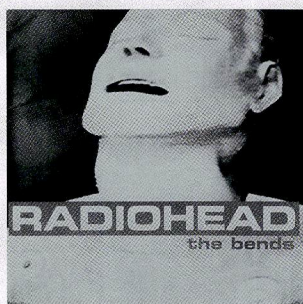
取材・文/中谷琢弥 撮影/林川 淳

LOVE LOVE LOVE
ラヴラヴラヴ

'03年、滋賀県立大学の音楽サークルで出会った寺井孝太(vo&b)、浦山恭介(g)、澤本康平(ds)により結成、京都を中心に活動する。'08年に拠点を東京に移し、9月にはミニアルバム「ターコイズ」をリリース。収録曲の「いいじゃないか」がFM802のヘビーローテーションに選ばれる。今年のROCK IN JAPAN FES. 2009にも出演と、いよいよ騒がしくなっている。
<http://www.love3.jp/>



POWER PLAY SOUND
Music is moistened our life. Tasteful album is here.
We'd like to find your recommended one.



recommend 01

ザ・ベイズ/レディオヘッド
EMI ミュージック 3200円

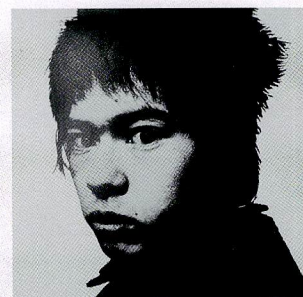
現役世界最高のバンドのひとつ、レディオヘッドの2ndアルバム(95年)。「これは僕のすべてが詰まっている。聴いた瞬間に世界が広がった。しかもギターのジョニーと誕生日が一緒で、『うわっ、これはもう(音楽を)やるしかない』って」(寺井)



recommend 02

SONGS / シュガー・ベイブ
ナイアガラ 2100円

山下達郎、大貫妙子らによるバンドで、大瀧詠一が主宰する(ナイアガラ・レーベル)から、という一家に一枚、の歴史的名盤。「僕たちも日本語でロックをやったけれど、これとはつっぴえんどが一番のお手本」(浦山)



recommend 03

メシ喰うな / INU
徳間ジャパン 2000円

現在は作家としても顔を見ない小説を発表する町田康=町田町蔵によるバンド、INUの'81年作品。ジャパニーズ・パンクの伝説。「高3くらいに音の音楽にハマった時期があって、特にこの人の考え方が好きだった」(澤本)

朝焼け、晴天、雨模様、夕暮れ、夜空
あなたはどの時間帯の空が好きですか？

「音楽やってる理由ってたぶん、人と繋がりたいから。聴いてくれて興味を持ってくれることが嬉しくて。根本としてはそれだけでやってるから、自分の思ってることを出したい、っていうものでしかない。好きな音楽を聴いて、重なる瞬間ってあるじゃないですか。それって『繋がれたな』って思えるときで。僕たちもそういうものをつくりたい」(寺井)

LOVE LOVE LOVE というロック・バンドの魅力を、この言葉が的確に表している気がする。それに気付いていること、そしてそれを真直ぐに話せること、も含めてだ。例えば曾我部恵一のように。

また彼らは、滋賀での学生生活と京都でのライブ活動、そういった日々が現在のバンド・サウンドのベースになっているとも話す。

「京都のヒネた感覚、ただ単純に『元気になるうぜ』って言い切らない感じとか、そういうのは影響あったというか、自分も持ってたもので、そこが京都と繋がる部分でもあって。でも今思えば(そういう感覚の中)にいたこと)逆に、『僕たちはストレートなものが好き』って言うことがはっきり見えた気がする」(寺井)

「京都で活動してたけど、普段見ていたのは彦根の景色で。

その突き抜けた、素直で直球な風景が僕たちの元になってる」(浦山)

今作は上京後、初めて制作された音源であり、メジャー・リリース第一弾となる。前作「ターコイズ」はシングルに削ぎ落とされた、かつギラギラした一枚だったのに対し、今回はプラスアルファの「遊び」の部分が多くなっていて、音楽的な広がりも感じさせる楽曲が並んでいる。歌とメロディ、スリーピースの楽器の音、が表情豊かに聴こえてくるのだ。アルバム・タイトルにも、彼らしい思いがこもっている。

「青色とか空が好きで。嫌なことがあったとき、空を見ると落ち着くんですね。なんでかかって考えたときに、空ってわけ分らんくらいデカくて、何でもできるような気にさせてくれると。その気持ちってバンドをやり始めたときのアホみたいな勢いとイコールやなって思っ、それをこのアルバムに詰め込みたいなってところで『ソライロ』って」(寺井)

「空色っていろいろ変わるじゃないですか。青だけじゃなく、夕焼けも夜の空も雨もあるし。同じように人の気持ちもいっぱいあって、そういうのも表せてるなって」(浦山)